

ひまわり

ごせん
ごせん
おと
1200まで

手 焼 機

9

2022
SEP

温度は170℃で調整すること 厳守

150~170
で
180は

もくじ

- 2 情勢「障害福祉分野で働く」ということ
- 3 毎月亀岡市役所で販売会しています!!
- 4 グループホームの取り組みを紹介します
- 5 ちょっと聞いてよ! 第40回
ハートフェスタは中止ですがマルシェを開きます!
- 6 私たちと一緒に働いてみませんか?・時・ご寄付

今月号の表紙写真：第三かめおか作業所（稲垣咲哉さん）
毎日和菓子グループでがんばっています。
「みなさん、ぜひ買ってください!」

社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

「障害福祉分野で働く」ということ

平井一理

KAZUMICHI HIRAI

ホームヘルプセンターゆめネット
センター長

福祉分野における 人手不足の原因は

週末の新聞に入っている求人広告を見ると、多くの福祉分野の職員募集が見られます。私たち亀岡福祉会でも、慢性的な職員不足が続いています。職員募集をしても応募がない…。どの事業所にも起こっています。「福祉分野の人手不足」。それらの原因はどこから生まれているのでしょうか。

要因の一つに挙げられるのが「給与水準の低さ」だと思います。「2021年賃金実態調査報告書(NCCI調査)」では、「介護従事者の月額賃金の平均額は全産業平均賃金より約4万円低い」と発表がされています。昨年「新しい資本主義の実現」を国が掲げてからは、「福祉職の賃金アップ」の方針を打ち出しましたが、大きな改善にはつながっておらず、実感が持てないのが現状です。処遇改善などの加算による改善ではなく、基本報酬の単価を上げていくことが重要となり、それらは今後も声を上げていく必要があります。

もう一つの要因が「福祉に対するイメージ」だと思います。「支援(介助)が大変で体力的に身体が厳しい」「コ

ミュニケーションが難しい」「しんどい印象」など様々なイメージがあり、自分には福祉職場は難しいと思っている人が多いと思います。そんなイメージの福祉職場でも働き甲斐をもって働いている人はいます。その原動力や魅力はなんでしょうか。

仕事のやりがいと 苦勞は何か？

私は障害福祉分野での仕事(支援)は今年で13年目となります。作業所、グループホーム、ショートステイ、居宅介護など様々な事業(支援)を担当する機会が多くあり、様々な場面に接することで学ぶこと、考えることが多くありました。

利用者(以下メンバー)のみなさんと仕事にとりくむ中で、目標を達成する喜び、達成しなかった悔しさを一緒に感じることは、支援者としての一つのやりがいです。またその人の新たな一面が見られた時、できる・できないではなく心身の発達していく姿が見られることも嬉しいことです。また様々な人たちと出会い、交流をすることも楽しみの一つです。

やりがいと反対にしんどいことや苦

勞もあります。「支援をどうしていいかわからないか」「課題に対する解決が難しい」「心身の疲労」など目まぐるしく変わる、日々の忙しさの中で起ります。それらを解決するのはメンバーと一緒に過ごすこと、職員同士で話や相談をすること、「なかま」がいることで解決に向かうことが多いです。

みなさんと一緒に…

福祉分野に限らず、自分の知らない・わからない分野で働くことを選ぶハードルは高いと思います。しかしながら障害福祉分野で働くことは様々な魅力があります。その魅力を発信し、伝えていくことも私たちの仕事だと思えます。今の日本を見ても誰しもが厳しい毎日を送っています。障害のあるなしに関わらず「多様性を認め合い、ひとりひとりのあたりまえのねがいに応える」そんな社会の実現をみなさんと一緒にとりくめたいという限りです。



地域とのつながり 毎月亀岡市役所で販売会 しています!

～様々な亀岡市障害者就労支援共同センターの活動～

亀岡市役所で販売会しています!

毎月第4火曜日、午前11時から午後1時までの短い昼休みの時間ですが、亀岡市役所玄関ロビーにて、市内の作業所の手づくり製品販売会をおこなっています。この取り組みは『亀岡市障害者就労支援共同センター(通称…共同センター)』の1つの事業として、亀岡市の協力により平成23年にスタートし、11年余りつづいています。毎回、各事業所の旬のおススメ商品などを紹介するチラシを作成、市役所職員の皆さまにお知らせし、また市民の皆さま向けにも開催予告を京都新聞に掲載いただいています。この7月には123回目を終えたところです。コロナの影響などもあり中止や売り上げの減少もありましたが、市役所職員や来庁された市民からも「楽しみにしているんです」と立ち寄ってくくださる方が広がっています。私たち作業所にとっても、日ごろは事業所ごとの活動が中心になりますが、この販売会は地域の作業所が協力して準備から販売ま



市役所での販売の様子

でおこない、互いの情報交換にもなる貴重な機会となっています。

亀岡市障害者就労支援共同センターとは?

亀岡市障害者就労支援共同センターは平成22年にスタートしました。市内作業所の担当者があつまる会議で「障害のある人たちに、もつと多様な仕事づくりができないだろうか?」という意見が出され、亀岡市議会議員の協力を得て亀岡市長との懇談が実現しました。現状を訴えるなかで、亀岡市が管理されている事業を障害のある人たちへ委託、予算化していただくこととなりました。また行政だけでなく「作業所にこんな仕事頼めないだろうか?」という問い合わせ窓口として共同センターが設立、事務局を第三かめおか作業所が担っています。

ちょうど平成25年には「障害者優先調達推進法」が施行され、比較的安定的な行政の仕事を障害のある人に優先的に発注するというこの法律も追い風になったかと思えます。今では市内の作業所がJRの駅周辺清掃や図書館の蔵書整理、国分寺周辺の植栽と草刈り事業など、様々な事業を請け負っています。昨年度からは亀岡駅北口に完成した、サンガスタジアムby京セラでの京都サンガFC戦で観客の皆さまにパンフレットを配る仕事など、新しい仕事もはじまりました。地域からも「こんな仕事は作業所でできますか?」と問い合わせをいただくことも多く、



サンガスタジアムby京セラでのパンフレット配布作業風景

実際にいくつかお引き受けしたり、今も大手企業さまから一緒に工場ラインでの仕事を請け負ってもらえないかという相談をいただいているところ。様々な機会をつうじて、障害のある人の働くことを広げるだけでなく、障害のある人の実態や願い、抱える課題などをともに考える地域づくりにつながればと考えています。これからも共同センターの事業への応援、よろしくお願いたします。

<共同センターを構成する10の就労支援事業所>

- ワークスおーい(大井町)・かめおか作業所(蒔田野町)
- 第三かめおか作業所(保津町)・圭の家(篠町)
- 太陽共同作業所(余部町)・ハーモニージョブズ(追分町)
- ヴィレッジれん(宮前町)・とんとん工房(荒塚町)
- エヌファーム(蒔田野町)・ゆうゆう(西別院町) ※順不同